

多面的機能の維持・発揮活動

【施設部門】

すが う だ さ た おきかんきょうほぜんかい
清し有田佐田沖環境保全会(玉城町)

地域力の結集と底上げを実現・・・サポート隊の取組み

活動の状況 (協定農用地面積A=332.78ha)

当保全会は、玉城町北部の稲作地帯を協定エリアとし、11集落、6団体を構成員とする広域活動組織です。

平成24年の設立当初は、集落単位の活動を展開していましたが、補修関連事業においては、次第に集落規模等に起因する集落間格差が顕著になってきました。このため、平成26年度より、①毎年2～3月に各集落が行う点検・機能診断による補修要望の取りまとめ、②要望の妥当性、優先順位等の検討のための運営委員会役員による再度の点検・機能診断、③5月の運営委員会による補修計画承認、というプロセスを原則堅持することにより、事業実施に伴う計画性と公平性の確保を図るとともに、①土木技能・資格を有する人材の確保による直営施工の拡大、②集落の垣根を超えて活動参加できる人材の集約、を目的とした「有田佐田沖共同活動サポート隊」を立ち上げ、地域住民の皆さんに参加を呼びかけたところ、多くの賛同を得ることができ、現在男性27名、女性19名の方々がサポート隊員として活躍しています。

このような取組みの結果、サポート隊設立後は直営施工件数が大幅に増加したほか、地域住民の間にも「自分たちでもできる」という機運が醸成され活動の活性化に繋がっています。



役員による点検・機能診断

直営施工件数の推移

年度	施工数	うち、直営施工	直営施工率(%)
H24	6	1	17
H25	8	0	0
H26	19	17	89
H27	14	14	100
H28	37	34	92



運営委員会

きの細やかな雑草対策



サポート隊による重機を使った法面整形



地域住民による防草シート張り
とヒメイワダレソウの植栽



開花時にはたくさんのミツバチが

未舗装農道の舗装



測量及び路床・路盤工事まではサポート隊で行う



完成後は多くの住民が利用